



TECHNICAL SUPPORT

PHP脆弱性 影響確認ガイド



PHP脆弱性への対応手順

■はじめに

本手順書では、弊社よりご購入いただいたSynology NASについて、PHPに関する脆弱性への対応要否を確認し、必要に応じてアップデートを実施するまでの手順をご案内します。

販売・設置されたSynology NASの環境によって、DSMのバージョンやPHPのインストール・利用状況が異なります。以下の流れに沿って現在の状態をご確認のうえ、必要な対応を実施してください。

なお、PHPがインストールされている場合でも、利用状況やシステム構成によって影響は異なります。本手順では、個々の環境における脆弱性の影響有無を判断するのではなく、対象となる環境を確認し、必要なアップデートを実施することを基本方針としています。

■本資料の取り扱いについて

メーカーであるSynology社からの本件に関する正式な情報は、グローバルで日本時間●月●日●時に**同社Webサイトへ公開される予定です**。

本資料は、お客様およびパートナーの皆様に早期にご確認・ご対応いただくことを目的とした事前通知資料です。

正式発表前の情報に基づいて作成しているため、Synology社の正式発表後に、対象製品、対象バージョン、対応方法および本資料の内容が変更される場合があります。正式発表後は、Synology社が公開する最新情報をあわせてご確認ください。

また、本資料は外部公開前の情報を含むため、正式発表日時までは、エンドユーザーへの対応準備および社内確認を目的としてお取り扱いいただき、Webサイト、SNSその他の公に閲覧可能な媒体への転載・公開は控えください。

■対策の流れ

① DSMバージョンの確認

はじめに、対象となるSynology NASの**DSMバージョンを確認**します。DSMのバージョンによって確認・対応内容が異なる可能性があるため、最初に現在のバージョンを確認してください。



② PHPインストール状況の確認

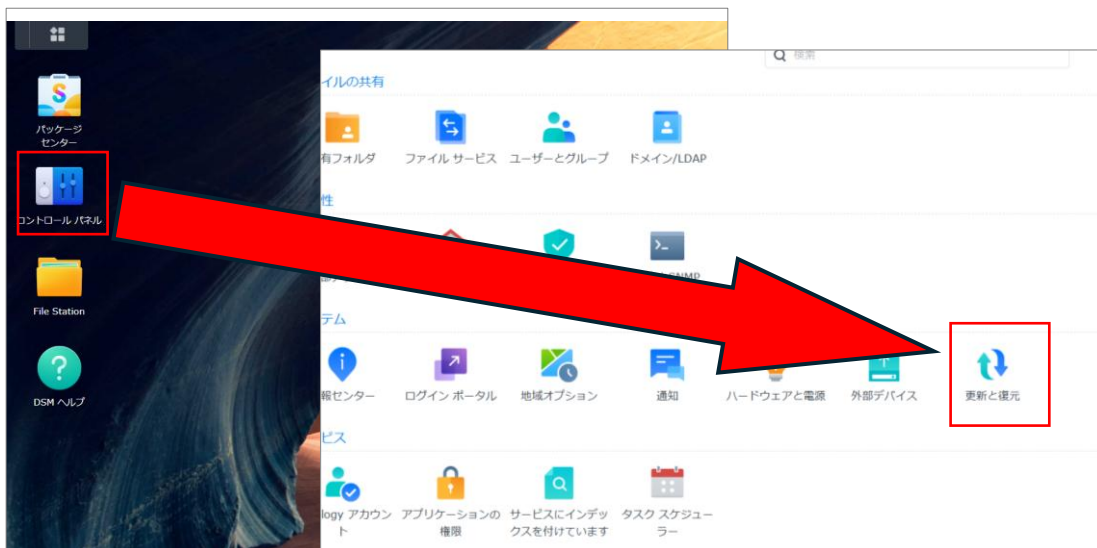
次に、対象のSynology NASにおける**PHPのインストール状況および利用状況を確認**します。PHPを明示的にインストールしていない場合でも、システムやアプリケーションの構成について確認が必要となる場合があるため、本手順に沿ってご確認ください。



③ **状況毎の対応方法** ※本対応前にバックアップを取得することを推奨します
確認の結果、**対応が必要なPHPが利用されている場合は、PHPのアップデートを実施**します。アップデート対象および具体的な操作方法については、後述の手順に沿って対応してください。

①DSMバージョン確認

SynologyNASに管理者権限でログインし、コントロールパネル> 更新と復元に進みます

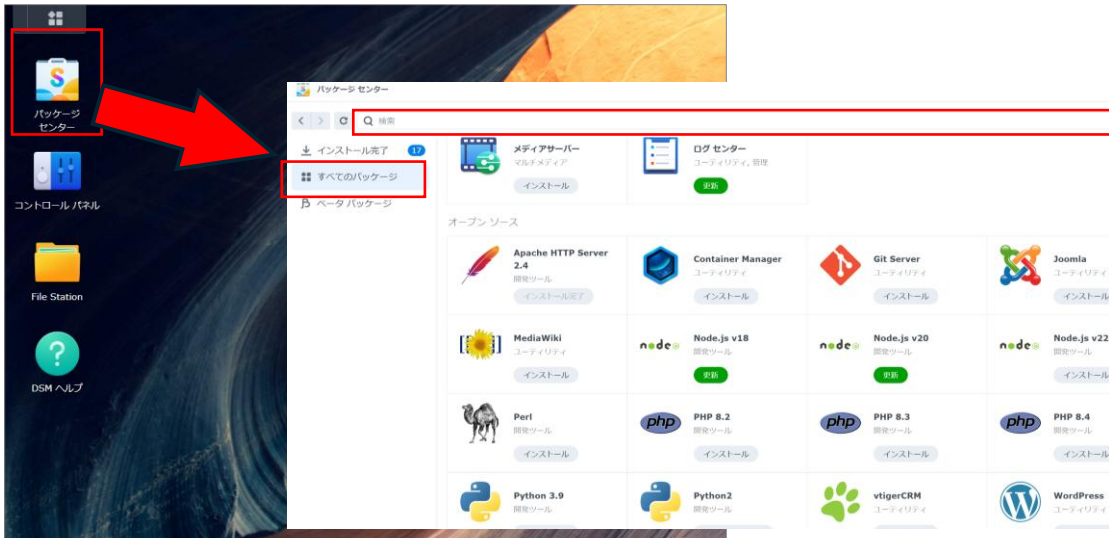


現在のDSMバージョンごとの留意事項

- ・ DSM 7.3 以降 : PHPのアップデートが提供されているため、問題ありません
- ・ DSM 7.2 : アップデートの提供は予定されていますが、すでにEOSのバージョンの為、DSMのアップデートをご検討ください
※本バージョンはHyperBackupを利用している場合、PHPがインストールされています
- ・ DSM 7.1 以前 : PHPのアップデートは提供されません。DSMのアップデートを検討ください。※本バージョンはHyperBackupを利用している場合、PHPがインストールされています

②PHPインストール状況の確認

パッケージセンターより、すべてのパッケージを選択します
検索バーに「PHP」と入力し、検索します



③状況毎の対応方法

PHPのアイコン下部の状態について

- ・「インストール」 : インストールされていません
今回の脆弱性の影響は受けませんのでそのままご利用ください
- ・「インストール完了」 : インストールされています。
DSMが7.3以降の場合はWordPressSynologyCalender等を利用している可能性があります
継続して利用する場合は**更新ボタンでアップデートを実施**してください。アンインストールする場合はアイコンをクリックしてアンインストールを選択してください。**※アンインストールを押すと利用できなくなるパッケージ一覧が表示されますので、ご確認の上、アンインストールしてください**
※更新ボタンが表示されていない場合は、修正版がリリースされていません。リリースされるまで、一時停止をご検討ください